旭川市地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

旭川市は北海道のほぼ中央に位置し，面積は約748㎢，人口は2022年4月1日時点で326,057人である。人口は2000年より減少に転じ，それにともなって市内路線バスの乗車人員も減少の一途をたどっている。一方，市街化区域外では高齢化が進み，「生活の足」としての公共交通の役割は，今後更に重要性が増すことが予測される。

そのため，JRや基幹的バス路線と，これに接続するフィーダー系統（デマンド交通など）を組み合わせることで，公共交通を維持，確保することを目指す生活交通ネットワークの構築を進めているところである。

生活交通確保維持改善計画の目標

人口1人あたりの年間利用回数５．９回

地域公共交通の現況

- 旭川中央交通（株）デマンド米飯線
- 旭川電気軌道（株）　７５系統
- 道北バス（株）　６８系統
- ＪＲ北海道（株）　４路線

協議会開催状況

令和３年４月１６日
　令和３年度 第１回旭川市地域公共交通会議
　－旭川市生活交通確保維持改善計画の承認

令和３年７月２９日
　令和３度 第２回旭川市地域公共交通会議
　－芦旭線の代替交通について

令和４年１月１３日
　令和３年度 第３回旭川市地域公共交通会議
　－芦旭線の代替交通（豊里線）について
　－デマンド交通米飯線の実績報告
　－北海道運輸局補助事業の事業評価

令和４年６月３０日
　令和４年度 第１回旭川市地域公共交通会議
　－旭川市生活交通確保維持改善計画の承認

令和５年１月１６日
　令和４年度 第２回旭川市地域公共交通会議
　－北海道運輸局補助事業の一次評価について
　－地域公共交通計画の見直し等について
　－豊里線及びデマンド交通米飯線の実績報告について
　－旭川市内のUDタクシーの導入状況について

令和４年度事業概要

米飯地区と東旭川駅周辺間において，往路4便，復路6便（土日祝は往路3便，復路4便）の頻度でデマンド型交通の運行を行った。

令和４年度事業の実施状況

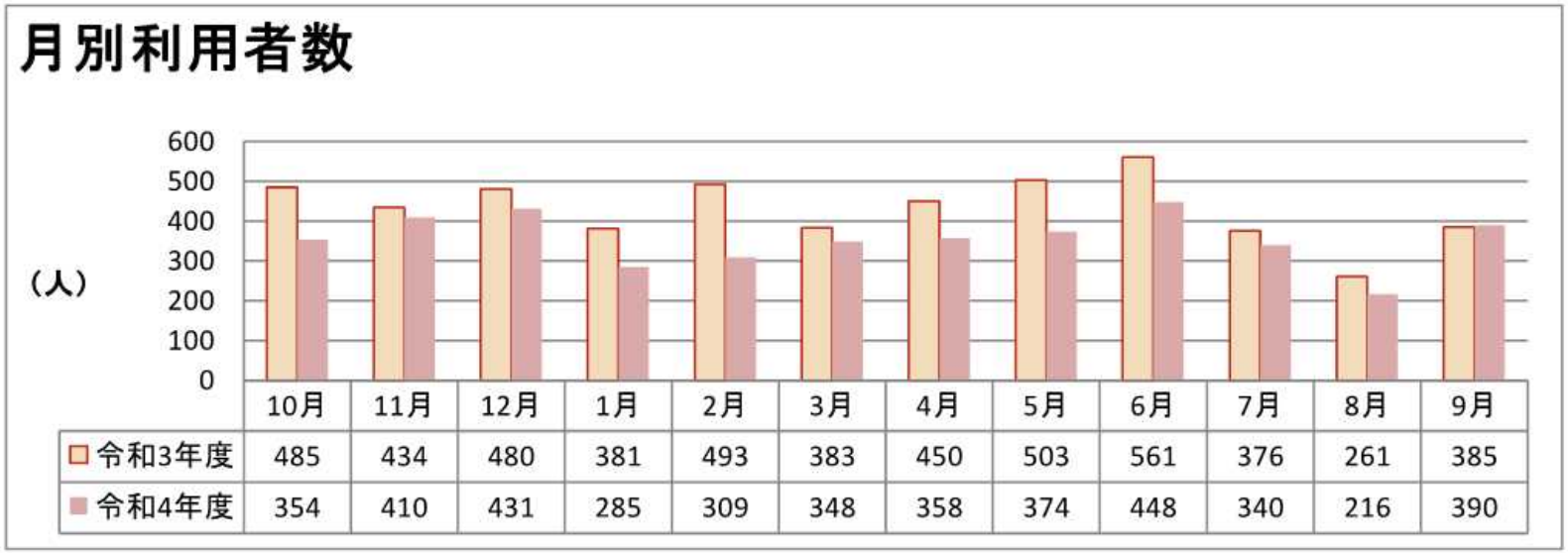
１）プロセス、創意工夫

・予約締切後、お迎え到着時間のコールバック
・運行車両位置情報お知らせアプリ
・冬の山道でも運行に支障がないよう主として4WD車使用（ジャンボタクシー・マイクロバス）

２）運行系統

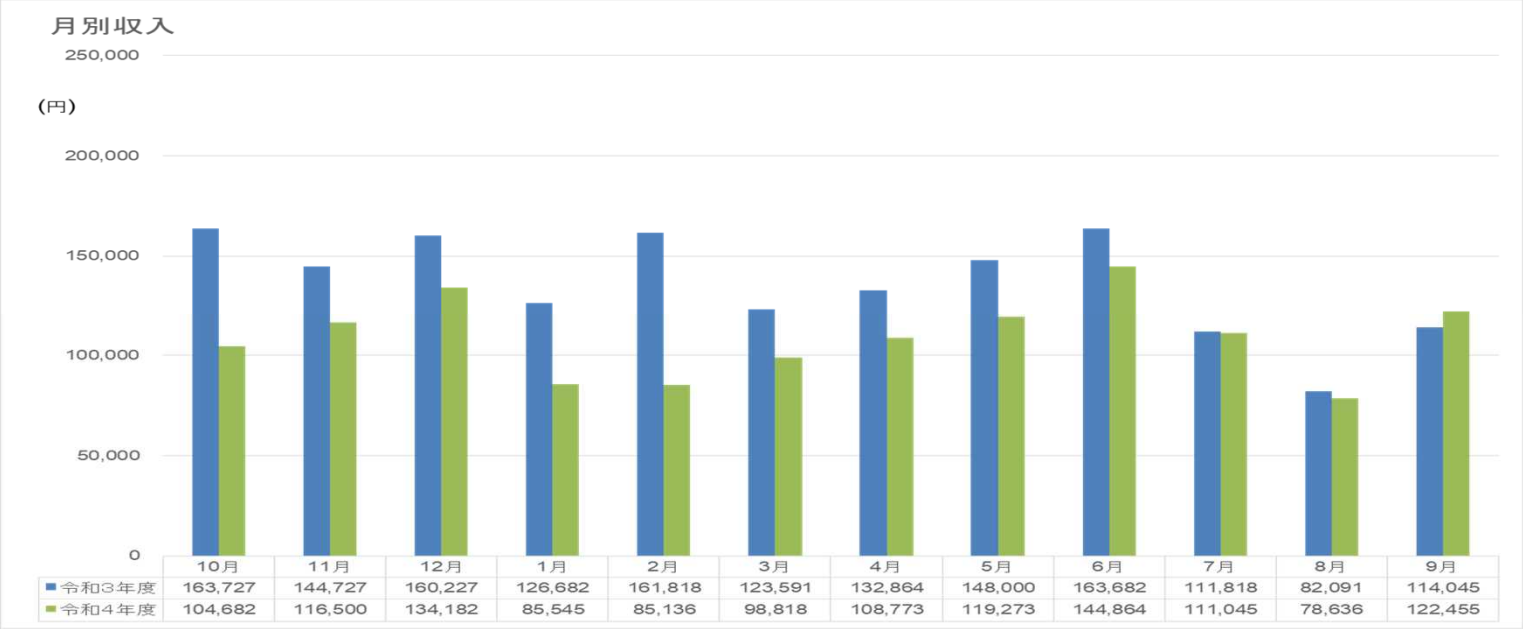
東旭川駅周辺施設～東旭川町瑞穂・米原・豊田・東桜岡～旭川21世紀の森

３）利用実績



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
令和3年度	485	434	480	381	493	383	450	503	561	376	261	385
令和4年度	354	410	431	285	309	348	358	374	448	340	216	390

４）収入実績



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
令和3年度	163,727	144,727	160,227	126,682	161,818	123,591	132,864	148,000	163,682	111,818	82,091	114,045
令和4年度	104,682	116,500	134,182	85,545	85,136	98,818	108,773	119,273	144,864	111,045	78,636	122,455

5）事業実施の適切性

計画どおりの運行がなされ，適切に事業が行われた。

6）目標・効果達成状況

実績は5．95回であり，計画に位置づけられた目標を達成した。

7）事業の今後の改善点

アンケート，意見交換会等の取組を通じて，実際に当該路線を利用している者の移動目的，用事の時間等を把握し，実態に沿った時刻等の設定を検討し，利便性及び生産性の向上を図る。

8）地方運輸局における二次評価結果

- 自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- 目標値は達成しているものの、令和3年度実績と比較すると減少しており、今後新たな目標値を設定するにあたっては、持続可能な公共交通を維持する観点から、収支率といった事業効率の改善につながる目標を設定することをご検討いただきたい。